

◎特集:学ぶ意欲をどのように高めるのか—教養ゼミナール(農芸)の挑戦

東北芸術工科大学では初年時教育科目「教養ゼミナール」の一環として、2010年度より「農芸」という講座を開講している。本学の建学理念と深く通じるこの講座は、どのようにして生まれたのか、その成果と今後の課題は何か。担当教員に振り返ってもらった。(編集部)



手塩にかけて育てたもぎたてのトウモロコシを抱えて運ぶ。長い時間を共にした作物たちは、普段お店で買ってくるものとはどこか違う



等間隔にまっすぐな畝を作ろうとするが、頭で描いたようにはなかなかできない



今日は雨、畑から出てきた石に岩絵の具で彩色してみれば、邪魔な石もアートに変身



キヌサヤエンドウの苗の植え付け風景



作物のスケッチは自然の理解にもつながる



農家からスイカの剪定の手ほどきを受ける。学生たちは興味津々



授業で大切に育てた紅花が、今日はいよいよ収穫の日を迎えた



紅花は山形の文化に深く根ざした作物だ



収穫物を野外で食べる。スイカはやや収穫が早かったか…これも経験